

平成 29 年度
大阪大学 世界適塾入試
(概要)



大阪大学 「世界適塾入試」 概要

- 大阪大学「世界適塾入試」は、本学の学部で実施する、ＡＯ入試、推薦入試の総称です。
- 学部ごとに、推薦入試、ＡＯ入試のどちらか又は両方を実施します。
- 本学で教育を受けるために必要な基礎学力の状況を把握するため、大学入試センター試験の受験を必須とします。(国際科学オリンピックＡＯ入試を除きます)
また、志願者の能力、意欲、適性を多面的・総合的に評価します。
- 志願者の基礎学力、能力、意欲、適性によっては、合格者が募集人員に満たない場合があります。
- 志願者１人につき、「世界適塾入試」の世界適塾推薦入試、世界適塾ＡＯ入試、国際科学オリンピックＡＯ入試のいずれか１つのみ出願することができます。「世界適塾入試」の複数の入試に出願した場合は、全ての出願を無効とし受験を認めません。
- 「世界適塾入試」に合格し入学を予定する者に対して、必要に応じ、本学教員が入学までに取り組むべき課題等について指導します。
- 「世界適塾入試」の実施に伴い、一般入試後期日程は、平成２９年度入試から全ての学部で募集を停止します。

1. 「世界適塾入試」の理念

本学は、1838年に緒方洪庵が開いた「適塾」を原点としています。「適塾」には、日本全国から、藩や身分の違いを超えて志の高い若者が学問を求めて集まり、互いに切磋琢磨しました。その後、彼らの多くは明治維新において、全く新しい近代日本をデザインし、作り上げたリーダーとして、歴史を変える大きな貢献をしました。本学は、この「適塾」の精神を受け継ぎ、21世紀のグローバル社会において活躍する人材を輩出することを目的とした「世界適塾」となることを志しています。

グローバル社会では、人種、言語、慣習、文化、宗教など様々な多様性が存在します。これらの多様性は心豊かな人類社会の発展には不可欠ですが、時として障壁となりさまざまな紛争を引き起こす場合があります。芸術やスポーツと同様、人類共通語である学問は、多様性により生じる障壁を乗り越え、調和をもたらす大きな力を有します。

本学は「物事の本質を見極める」高いレベルの学問を追求し、学問による「調和ある多様性」を創造することを理念とします。そのため、地球規模の「世界適塾」を実現して、知識、技能、経験、立場などが異なる人々の相互理解と協働によるイノベーションを推進する精神と力量を持つ人材を育成することにより、人類社会の発展にグローバルに貢献することを目指しています。そして、その基礎となる研究力・教育力を強化し、2031年の創立100周年において、「世界適塾」として世界トップ10の研究型総合大学になることを目指しています。

本学の目指す「世界適塾」が紡ぎ出す「調和ある多様性」においては、従来の価値観や能力にとらわれない多様な資質を有する学生を受け入れることが、これまで以上に重要になってきます。

このような考えに立ち、本学では従来の学部一般入試後期日程に代わり、「世界適塾入試」を実施することとしました。

2. 本学の教育目標（学士課程）

大阪大学は、「物事の本質を見極める学問と教育が大学の使命であり、この使命を果たすことで大学は社会に貢献していく」という理念のもと、「地域に生き世界に伸びる」をモットーに、次代の社会を支え、人類の理想の実現をはかる有能な人材を社会に輩出することを目標としています。

その目標を実現するため、学部並びに全学的な教育研究組織において、

○高度な専門性と深い学識

○教養・デザイン力・国際性

を身につけた知識基盤社会のリーダーとなるべき人材の育成に取り組んでいます。

3. 本学の入学者受け入れ方針（アドミッション・ポリシー）（学部）

大阪大学は、教育目標に定める人材を育成するため、高等学校等における学修を通して、確かな基礎学力及び主体的に学ぶ態度を身につけ、自ら課題を発見し探求しようとする意欲に溢れる人を受け入れます。

このような学生を適正に選抜するために、多様な選抜方法を実施します。

4. 「世界適塾入試」の基本方針

21世紀のグローバル社会において活躍する人材を輩出することを目的とした「世界適塾」となることを志す本学は、従来の価値観や能力にとらわれない多様な資質を有する学生を受け入れることが重要であると考え、一般入試とは異なる観点で「世界適塾入試」を全学で実施します。

「世界適塾入試」では、高等学校で主体的に学ぶ態度と能力を身に付けた将来のグローバルリーダーの卵である意欲的な人や、グローバル社会の下で活躍できる優秀な人材を、より多様に集積させることを目指します。具体的には、高等学校の成績、大学入試センター試験の結果、国際バカロレア資格、TOEFL、口頭試問（面接）等を各学部のアドミッション・ポリシーに基づき組み合わせる他、必要に応じ、高等学校での自由研究の活動、海外留学等の実績等を活用したり、志望理由書や志願者が所属する高等学校等の長が作成する志願者評価書を参考にしたりするなどして、多面的、総合的に合格者を判定します。

5. 入試方法

学部	世界適塾入試		
	世界適塾 A○入試	世界適塾 推薦入試	国際 科学オリンピック A○入試
文学部	○		
人間科学部	○		
外国語学部	○		
法学部	○		
経済学部	○		
理学部	○		○
医学部医学科		○	
医学部保健学科		○	
歯学部		○	
薬学部		○	
工学部		○	○
基礎工学部		○	○

6. 入試日程（予定）（平成29年度入試）

学部	入試種別	出願期間	第1次 選考	第1次 選考 合格者 発表	第2次 選考	第2次 選考 合格者 発表	第3次 選考 合格者 発表
文学部	世界適塾 A○入試	11月上旬		2月上旬	2月上旬	2月上旬	
人間科学部	世界適塾 A○入試	11月上旬		12月上旬	12月中旬	2月上旬	
外国語学部	世界適塾 A○入試	11月上旬		12月上旬	12月中旬	2月上旬	
法学部	世界適塾 A○入試	11月上旬		12月上旬	12月中旬	2月上旬	
経済学部	世界適塾 A○入試	11月上旬		12月上旬	12月中旬	2月上旬	
理学部	世界適塾A○入試 （研究奨励型）	11月上旬		12月上旬	12月下旬	12月下旬	2月上旬
	世界適塾A○入試 （挑戦型）	11月上旬		2月上旬	2月上旬	2月上旬	
医学部 医学科	世界適塾 推薦入試	11月上旬		2月上旬	2月上旬	2月上旬	
医学部 保健学科	世界適塾 推薦入試	11月上旬		12月上旬	12月中旬	2月上旬	
歯学部	世界適塾 推薦入試	11月上旬		12月上旬	12月中旬	2月上旬	
薬学部	世界適塾 推薦入試	11月上旬		2月上旬	2月上旬	2月上旬	
工学部	世界適塾 推薦入試	11月上旬		12月上旬	12月中旬	2月上旬	
基礎工学部	世界適塾 推薦入試	11月上旬		2月上旬	2月上旬	2月上旬	
理学部 工学部 基礎工学部	国際科学 オリンピック A○入試	10月中旬	11月上旬	12月上旬			

7. 募集人員

各年度の募集人員は、次のとおりです。

なお、平成32年度以降の募集人員は平成31年度と同様の予定ですが、変更がある場合は本学ウェブサイトでお知らせします。

志願者1人につき、「世界適塾入試」の世界適塾推薦入試、世界適塾A〇入試、国際科学オリンピックA〇入試のいずれか1つのみ出願することができます。「世界適塾入試」の複数の入試に出願した場合は、全ての出願を無効とし受験を認めません。

		世界適塾入試									(参考) 一般入試		
		世界適塾 A〇入試			世界適塾 推薦入試			国際科学 オリンピックA〇入試			前期日程		
		H29	H30	H31	H30	H30	H31	H29	H30	H31	H29	H30	H31
文学部	人文学科	30	30	30							135	135	135
人間科学部	人間科学科	15	15	15							115	115	115
外国語学部	外国語学科	4	4	4							36	36	36
	中国語専攻	2	2	2							16	16	16
	朝鮮語専攻	2	2	2							16	16	16
	モンゴル語専攻	1	1	1							9	9	9
	インドネシア語専攻	2	2	2							10	10	10
	フィリピン語専攻	2	2	2							13	13	13
	タイ語専攻	2	2	2							13	13	13
	ベトナム語専攻	2	2	2							16	16	16
	ビルマ語専攻	2	2	2							16	16	16
	ヒンディー語専攻	2	2	2							22	22	22
	ウルドゥー語専攻	3	3	3							16	16	16
	アラビア語専攻	2	2	2							16	16	16
	ペルシア語専攻	2	2	2							16	16	16
	トルコ語専攻	2	2	2							16	16	16
	スワヒリ語専攻	2	2	2							22	22	22
	ロシア語専攻	3	3	3							13	13	13
	ハンガリー語専攻	2	2	2							16	16	16
	デンマーク語専攻	2	2	2							16	16	16
	スウェーデン語専攻	2	2	2							31	31	31
	ドイツ語専攻	4	4	4							54	54	54
	英語専攻	3	3	3							22	22	22
	フランス語専攻	2	2	2							16	16	16
	イタリア語専攻	4	4	4							31	31	31
	スペイン語専攻	3	3	3							27	27	27
	ポルトガル語専攻	3	3	3							27	27	27
	日本語専攻	17	17	17							153	153	153
法学部	法学科	8	8	8							72	72	72
	国際公共政策学科	7	14	22							213	206	198
経済学部	経済・経営学科	研究 奨励	挑戦	研究 奨励	挑戦	研究 奨励	挑戦						
理学部	数学科	5	5	5				若干名			42	42	42
	物理学科	10	10	10				若干名			66	66	66
	化学科	4	4	4	4	4	4	若干名			69	69	69
	生物	3	2	3	2	3	2	若干名			25	25	25
	科学科	2	3	2	3	2	3	若干名			20	20	20

			世界適塾入試									(参考) 一般入試		
			世界適塾 A O 入試			世界適塾 推薦入試			国際科学 オリンピック A O 入試			前期日程		
			H29	H30	H31	H29	H30	H31	H29	H30	H31	H29	H30	H31
医学部	医学科					若干名						100	100	100
	保健 学科	看護学専攻				2	5	8				78	75	72
		放射線技術科学専攻				1	2	4				39	38	36
		検査技術科学専攻				1	2	4				39	38	36
歯学部	歯学科					5	5	5				48	48	48
薬学部	薬学科					5	5	5				20	20	20
	薬科学科					10	10	10				45	45	45
工学部	応用自然科学科					7	14	22	若干名			210	203	195
	応用理工学科					8	16	25	若干名			240	232	223
	電子情報工学科					5	10	17	若干名			157	152	145
	環境・エネルギー工学科					3	6	8	若干名			72	69	67
	地球総合工学科					4	8	12	若干名			114	110	106
基礎工学部	電子物理科学科					9	9	9	若干名			90	90	90
	化学応用科学科					9	9	9	若干名			75	75	75
	システム科学科					18	18	18	若干名			151	151	151
	情報科学科					9	9	9	若干名			74	74	74
合 計			174	181	189	96	128	165	若干名			2,968	2,929	2,884

* 世界適塾入試では、志願者の基礎学力、能力、意欲、適性によっては、学部・学科・専攻・コース（以下「学部等」と言う）の合格者又は入学手続き者が、学部等の募集人員に満たない場合があります。その場合、その欠員は学部等の一般入試前期日程の募集人員に加えます。

8. 入学前の教育

世界適塾入試に合格し入学を予定する者に対して、必要に応じ、本学教員が入学までに取り組むべき課題等について指導します。

学部名	文学部
入試方法	世界適塾ＡＯ入試
出願資格	次のいずれかに該当する者 1. 高等学校又は中等教育学校を平成２８年度中に卒業又は卒表見込みの者 2. 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を平成２８年度中に修了又は修了見込みの者 3. スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局が授与する国際バカロレア資格を平成２８年度中に取得した者又は取得見込みの者で平成２９年３月３１日までに１８歳に達する者 4. 学校教育法施行規則（昭和２２年文部省令第１１号）第１５０条第７号の規定により、本学において、個別の入学資格審査により高等学校を平成２８年度中に卒業又は卒表見込みの者と同等以上の学力があると認めた者で、平成２９年３月３１日までに１８歳に達するもの
出願要件	次の全てに該当する者とします。 1. 高等学校在学期間に相当する期間での特筆すべき活動を証明する書類（「主な提出書類」のＣに該当する書類）を提出できる者 2. 文学部が定める平成２９年度大学入試センター試験の受験を要する教科・科目を受験する者 3. 合格した場合に、必ず入学することを確約する者
主な提出書類	A. 次の１から３の書類は全員提出してください。 1. 調査書（出願資格３に該当する者は調査書の代わりに成績証明書を提出してください） 2. 志望理由書 3. 志願者評価書（高等学校長が作成すること） B. 出願資格の３に該当する者は、次の４を提出してください。 4. スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局が授与する国際バカロレア資格を有する者は「国際バカロレア資格証書のコピー」と「国際バカロレア資格最終試験６科目の成績評価証明書の原本」。なお、取得見込みの者は、所属する高等学校等の校長が発行する取得見込み証明書及び Predicted Grades を仮に提出してもらいますが、期限までに「国際バカロレア資格証書のコピー」と「国際バカロレア資格最終試験６科目の成績評価証明書の原本」を提出できない場合は、合格者判定の対象としません。 C. 次の１～９から１つ又は複数の項目に該当する書類を全員提出してください。 1. 文学部での学びに資する卓越した活動、例えば哲学・地理歴史・文学・語学・美術・音楽・演劇等に関する活動についてＡ４用紙１枚にまとめた書類、及びそれを裏付ける書類等があればそのコピー 2. 外国語に関する高い語学力を証明する書類（TOEFL、IELTS、英検、TestDaF、DALF、HSK等） 3. 海外研修又は留学（現地での実質的な研修又は留学期間が１５日以上）の事実を証明する書類（平成２６年４月１日以降の経験に限る） 4. 日本学術会議協力学術研究団体の学会で発表者（予定の者を含む）となったことを証明する書類 5. 日本の大学入試センター試験に相当する各国の大学入学に必要な統一試験を受験した場合は科目別の評価が記載されている試験成績証明書（平成２６年４月１日以降に受験した成績に限る）

	6. スーパーグローバルハイスクール（SGH）に指定されている学校において SGH に関連する コースや科目を履修し、得たことを志願者が A 4 用紙 1 枚にまとめた書類 7. スーパーサイエンスハイスクール（SSH）に指定されている学校において SSH に関連する コースや科目を履修し、得たことを志願者が A 4 用紙 1 枚にまとめた書類 8. 高等学校等で行った課題研究の実績を証明する書類 9. 高度なリーダーシップ経験（生徒会長等）を証明する書類（平成 26 年 4 月 1 日以降の 経験に限る） D. 次の 1～2 に該当するものがあれば証明する書類を提出してください。（任意） 1. 高等学校等の正課として行われたインターンシップを行った者はそれを証明する書類と インターンシップの経験で得たことを志願者が A 4 用紙 1 枚にまとめた書類 2. 海外研修又は留学（現地での実質的な研修又は留学期間が 15 日未満）の経験があれば その事実を証明する書類（平成 26 年 4 月 1 日以降の経験に限る）														
大学入試センター試験の受験を要する教科・科目	国語	国語													
	地歴	世界史 B、日本史 B、地理 B	} から 2												
	公民	「倫理、政治・経済」													
	理科	物理基礎、化学基礎、生物基礎、地学基礎から 2		* 1											
	数学	（数学 I・数学 A）と（数学 II・数学 B）の 2													
	外国語	英語（リスニング含む）、ドイツ語、フランス語、中国語、韓国語から 1			* 2										
	* 1：「基礎を付した科目」から 2 科目選択することを原則としますが、その他の場合は次の とおり取扱います。 ①「基礎を付した科目」から 2 科目と、「基礎を付していない科目」から 1 科目を選択 した場合・・・選択した基礎を付した 2 科目の成績を利用 ②「基礎を付していない科目」から 2 科目を選択した場合・・・基礎を付していない 2 科目を、基礎を付した 2 科目と見なし、2 科目の成績を利用。この場合、基礎を付 していない科目は 1 科目ごとに 50 点満点に換算します。 ③「基礎を付していない科目」のみから 1 科目だけ選択した場合・・・出願不可 （「基礎を付した科目」とは、物理基礎、化学基礎、生物基礎、地学基礎を指し、「基 礎を付していない科目」とは、物理、化学、生物、地学を指します。） * 2：英語は 250 点満点、他の外国語は 200 点満点のため、英語を選択した場合は筆記試験 を 180 点満点、リスニングを 20 点満点、合計 200 点満点に換算して利用します。														
選抜方法及び選抜基準	1. 第 1 次選考は、提出書類と大学入試センター試験の成績を総合して行います。 2. 第 2 次選考は、第 1 次選考合格者に対し小論文を課するとともに個人面接又は口頭試問を 課します。 3. 面接又は口頭試問は、必要に応じ、外国語により行う場合があります。 4. 第 2 次選考の合格者判定は、提出書類、面接又は口頭試問の結果、大学入試センター試 験の成績により行います。配点は、次のとおりとします。なお、大学入試センター試験 は、100 点満点に換算します。 <table><tr><td></td><td>提出書類 面接/口頭試問</td><td>小論文</td><td>大学入試 センター試験</td><td>合計</td></tr><tr><td>配点</td><td>100</td><td>100</td><td>100</td><td>300</td></tr></table> 但し、大学入試センター試験の得点の合計が概ね 80%以上であることを目安とします。						提出書類 面接/口頭試問	小論文	大学入試 センター試験	合計	配点	100	100	100	300
	提出書類 面接/口頭試問	小論文	大学入試 センター試験	合計											
配点	100	100	100	300											

学部名	人間科学部
入試方法	世界適塾ＡＯ入試
出願資格	次のいずれかに該当する者 1. 高等学校若しくは中等教育学校を卒業した者及び平成２９年３月までに卒業見込みの者 2. 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者及び平成２９年３月までに修了見込みの者 3. スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局が授与する国際バカロレア資格を取得した者及び平成２９年３月までに取得見込みの者で平成２９年３月３１日までに１８歳に達する者
出願要件	次の全てに該当する者とします。 1. 調査書の評定平均値４．３以上の者又は国際バカロレアのスコア３８点以上の者 2. 高等学校在学期間に相当する期間での特筆すべき活動を証明する書類（「主な提出書類」のＣに該当する書類）を提出できる者 3. 人間科学部が定める平成２９年度大学入試センター試験の受験を要する教科・科目を受験する者 4. 合格した場合に、必ず入学することを確約する者
主な提出書類	A. 次の１から３の書類は全員提出してください。 1. 調査書（出願資格３に該当する者は調査書の代わりに成績証明書を提出してください） 2. 志望理由書 3. 志願者評価書（高等学校長が作成すること） B. 出願資格の３に該当する者は、次の４を提出してください。 4. スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局が授与する国際バカロレア資格を有する者は「国際バカロレア資格証書のコピー」と「国際バカロレア資格最終試験６科目の成績評価証明書の原本」。なお、取得見込みの者は、所属する高等学校等の校長が発行する取得見込み証明書及び Predicted Grades を仮に提出してもらいますが、期限までに「国際バカロレア資格証書のコピー」と「国際バカロレア資格最終試験６科目の成績評価証明書の原本」を提出できない場合は、合格者判定の対象としません。 C. 次の１～１２から１つ又は複数の項目に該当する全ての書類を全員提出してください。 1. 外国語に関する高い語学力を証明する書類（TOEFL、IELTS、英検、TestDaF、DALF、HSK等）（平成２６年４月１日以降のスコア又は合格に限る） 2. 海外研修又は留学（現地での実質的な研修又は留学期間が１５日以上）の事実を証明する書類（平成２６年４月１日以降の経験に限る） 3. スーパーサイエンスハイスクール（SSH）生徒研究発表会（文部科学省、独立行政法人科学技術振興機構主催）で、出場者となったことを証明する書類 4. 日本学生科学賞（読売新聞社等主催）で、入選した者および最終審査会進出者（予定の者を含む）となったことを証明する書類 5. ジャパン・サイエンス&エンジニアリング・チャレンジ（JSEC）高校生科学技術チャレンジ（朝日新聞社主催）で、最終審査会出場者（予定の者を含む）となったことを証明する書類 6. 日本学術会議協力学術研究団体の学会で発表者（予定の者を含む）となったことを証明する書類 7. 日本の大学入試センター試験に相当する各国の大学入学に必要な統一試験を受験した場合は科目別の評価が記載されている試験成績証明書（平成２６年４月１日以降に受験し

	た成績に限る) 8. スーパーサイエンスハイスクール (SSH) に指定されている学校において SSH に関連するコースや科目を履修し、得たことを志願者が A 4 用紙 1 枚にまとめた書類 9. スーパーグローバルハイスクール (SGH) に指定されている学校において SGH に関連するコースや科目を履修し、得たことを志願者が A 4 用紙 1 枚にまとめた書類 10. 高等学校等で行った課題研究の実績を証明する書類 11. 高度なリーダーシップ経験 (生徒会長等) を証明する書類 (平成 26 年 4 月 1 日以降の経験に限る) 12. ボランティアなどの社会貢献活動で卓越した成果を証明する書類 (平成 26 年 4 月 1 日以降の成果に限る) D. 次の 1～2 に該当するものがあれば証明する書類を提出してください。(任意) 1. 高等学校等の正課として行われたインターンシップを行った者はそれを証明する書類とインターンシップの経験で得たことを志願者が A 4 用紙 1 枚にまとめた書類 2. 海外研修又は留学 (現地での実質的な研修又は留学期間が 15 日未満) の経験があればその事実を証明する書類 (平成 26 年 4 月 1 日以降の経験に限る) E. 上記 C の 1～12 及び D の 1、2 以外で、世界適塾 A O 入試で求められる「従来の価値観や能力にとらわれない多様な資質を有する学生」に該当すると考えられる特記事項があれば、A 4 用紙 1 枚にまとめて提出してください。また、その内容を証明する書類等があれば添付してください。(任意)																	
大学入試センター試験の受験を要する教科・科目	<table border="0"> <tr> <td>国語</td><td>国語</td><td></td></tr> <tr> <td>地歴</td><td>世界史 B、日本史 B、地理 B</td><td rowspan="2">} から 1 *1</td></tr> <tr> <td>公民</td><td>「倫理、政治・経済」</td></tr> <tr> <td>理科</td><td>物理基礎、化学基礎、生物基礎、地学基礎から 2 又は 物理、化学、生物、地学から 1</td><td rowspan="2">} *2</td></tr> <tr> <td>数学</td><td>(数学 I・数学 A) と (数学 II・数学 B) の 2</td></tr> <tr> <td>外国語</td><td>英語 (リスニング含む)、ドイツ語、フランス語、中国語、韓国語から 1</td><td></td></tr> </table> * 3	国語	国語		地歴	世界史 B、日本史 B、地理 B	} から 1 *1	公民	「倫理、政治・経済」	理科	物理基礎、化学基礎、生物基礎、地学基礎から 2 又は 物理、化学、生物、地学から 1	} *2	数学	(数学 I・数学 A) と (数学 II・数学 B) の 2	外国語	英語 (リスニング含む)、ドイツ語、フランス語、中国語、韓国語から 1		* 1 : 第 1 解答科目の成績を利用します。 * 2 : 「基礎を付した科目」から 2 科目又は「基礎を付さない科目」から 1 科目選択することを原則としますが、その他の場合は次のとおり取扱います。 ① 「基礎を付した科目」から 2 科目と、「基礎を付していない科目」から 1 科目を選択した場合・・・いずれか得点が高い方の成績を利用します ② 「基礎を付していない科目」から 2 科目を選択した場合・・・第 1 解答科目の成績を利用します。 (「基礎を付した科目」とは、物理基礎、化学基礎、生物基礎、地学基礎を指し、「基礎を付していない科目」とは、物理、化学、生物、地学を指します。) * 3 : 英語は 250 点満点、他の外国語は 200 点満点のため、英語を選択した場合は筆記試験を 160 点満点、リスニングを 40 点満点、合計 200 点満点に換算して利用します。
国語	国語																	
地歴	世界史 B、日本史 B、地理 B	} から 1 *1																
公民	「倫理、政治・経済」																	
理科	物理基礎、化学基礎、生物基礎、地学基礎から 2 又は 物理、化学、生物、地学から 1	} *2																
数学	(数学 I・数学 A) と (数学 II・数学 B) の 2																	
外国語	英語 (リスニング含む)、ドイツ語、フランス語、中国語、韓国語から 1																	
選抜方法及び選抜基準	1. 第 1 次選考は、提出書類により選考を行います。 2. 第 2 次選考は、第 1 次選考合格者に対し小論文及び面接を実施します。 3. 面接は、必要に応じ、外国語により行う場合があります。 4. 第 2 次選考の合格者判定は、提出書類、小論文の成績、面接の結果、大学入試センター																	

	試験の成績により行います。配点は、次のとおりとします。なお、大学入試センター試験は、100点満点に換算します。		
		提出書類 小論文 面接	大学入試 センター試験
	合計	200	100
	配点	100	100
但し、大学入試センター試験の得点の合計が満点中 80%以上であることが必要です。			

学部名	外国語学部
入試方法	世界適塾ＡＯ入試
出願資格	次のいずれかに該当する者 1. 高等学校若しくは中等教育学校を平成２８年度中に卒業又は卒業見込みの者 2. 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を平成２８年度中に修了又は修了見込みの者 3. スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局が授与する国際バカロレア資格を平成２８年度中に取得した者又は取得見込みの者で平成２９年３月３１日までに１８歳に達する者
出願要件	次の全てに該当する者とします。 1. 調査書の評定平均値４．３以上の者又は国際バカロレアのスコア３８点以上の者 2. TOEFL-iBT スコア７９点以上の者、IELTS スコア６．０点以上の者又は英検１級若しくは準１級の合格者（平成２６年４月１日以降のスコア又は合格に限る） 3. 高等学校在学期間に相当する期間での特筆すべき活動を証明する書類（「主な提出書類」のＣに該当する書類）を提出できる者 4. 外国語学部が定める平成２９年度大学入試センター試験の受験を要する教科・科目を受験する者 5. 合格した場合に、必ず入学することを確約する者
主な提出書類	A. 次の１から４の書類は全員提出してください。 1. 調査書（出願資格３に該当する者は調査書の代わりに成績証明書を提出してください） 2. TOEFL の Examinee's Score Record の原本、IELTS の Test Report Form の原本又は英検の合格証明書の原本 3. 志望理由書 4. 志願者評価書（高等学校長が作成すること） B. 出願資格の３に該当する者は、次の５を提出してください。 5. スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局が授与する国際バカロレア資格を有する者は「国際バカロレア資格証書のコピー」と「国際バカロレア資格最終試験６科目の成績評価証明書の原本」。なお、取得見込みの者は、所属する高等学校等の校長が発行する取得見込み証明書及び Predicted Grades を仮に提出してもらいますが、期限までに「国際バカロレア資格証書のコピー」と「国際バカロレア資格最終試験６科目の成績評価証明書の原本」を提出できない場合は、合格者判定の対象としません。 C. 次の１～１０から１つ又は複数の項目に該当する書類を全員提出してください。 1. 外国語に関する高い語学力を証明する書類（TestDaF、DALF、HSK、ТРКИ 等） 2. 国際的又は全国的規模の外国語によるスピーチコンテスト等に出場し、入賞したことを証明する書類 3. 海外研修又は留学（現地での実質的な研修又は留学期間が１５日以上）の事実を証明する書類（平成２６年４月１日以降の経験に限る） 4. 日本学術会議協力学術研究団体の学会で発表者（予定の者を含む）となったことを証明する書類 5. 日本の大学入試センター試験に相当する各国の大学入学に必要な統一試験を受験した場合は科目別の評価が記載されている試験成績証明書（平成２６年４月１日以降に受験した成績に限る） 6. スーパーサイエンスハイスクール（SSH）に指定されている学校において SSH に関連する

	コースや科目を履修し、得たことを志願者がA 4 用紙 1 枚にまとめた書類 7. スーパーグローバルハイスクール（SGH）に指定されている学校において SGH に関連するコースや科目を履修し、得たことを志願者がA 4 用紙 1 枚にまとめた書類 8. 高等学校等で行った課題研究の実績を証明する書類 9. 高度なリーダーシップ経験（生徒会長等）を証明する書類（平成26年4月1日以降の経験に限る） 10. ボランティアなどの社会貢献活動で卓越した成果を証明する書類（平成26年4月1日以降の経験に限る） D. 次の1～2に該当するものがあれば証明する書類を提出してください。（任意） 1. 高等学校等の正課として行われたインターンシップを行った者はそれを証明する書類とインターンシップの経験で得たことを志願者がA 4 用紙 1 枚にまとめた書類 2. 海外研修又は留学（現地での実質的な研修又は留学期間が15日未満）の経験があればその事実を証明する書類（平成26年4月1日以降の経験に限る）										
大学入試センター試験の受験を要する教科・科目	国語 地歴 公民 理科 数学 外国語	国語 世界史B、日本史B、地理B 「倫理、政治・経済」 物理基礎、化学基礎、生物基礎、地学基礎から2 （数学Ⅰ・数学A）と（数学Ⅱ・数学B）の2 英語（リスニング含む）、ドイツ語、フランス語、中国語、韓国語から1	から1 *1 *2 *3								
	*1：第1解答科目の成績を利用します。 *2：「基礎を付した科目」から2科目選択することを原則としますが、その他の場合は次のとおり取扱います。 ①「基礎を付した科目」から2科目と、「基礎を付していない科目」から1科目を選択した場合・・・選択した基礎を付した2科目の成績を利用 ②「基礎を付していない科目」から2科目を選択した場合・・・基礎を付していない2科目を、基礎を付した2科目と見なし、2科目の成績を利用。この場合、基礎を付していない科目は1科目ごとに50点満点に換算します。 ③「基礎を付していない科目」のみから1科目だけ選択した場合・・・出願不可 （「基礎を付した科目」とは、物理基礎、化学基礎、生物基礎、地学基礎を指し、「基礎を付していない科目」とは、物理、化学、生物、地学を指します。） *3：英語は250点満点、他の外国語は200点満点のため、英語を選択した場合は筆記試験を180点満点、リスニングを20点満点、合計200点満点に換算して利用します。										
選抜方法及び選抜基準	1. 第1次選考は、提出書類により選考を行います。 2. 第2次選考は、第1次選考合格者に対し小論文を課すとともに面接又は口頭試問を課します。 3. 小論文及び面接又は口頭試問は、必要に応じ、外国語により行う場合があります。 4. 第2次選考の合格者判定は、提出書類、小論文の成績、面接又は口頭試問の結果、大学入試センター試験の成績により行います。配点は、次のとおりとします。なお、大学入試センター試験は、100点満点に換算します。 <table border="1"> <tr> <td></td><td>提出書類 小論文 面接/口頭試問</td><td>大学入試センター試験</td><td>合計</td></tr> <tr> <td>配点</td><td>100</td><td>100</td><td>200</td></tr> </table>				提出書類 小論文 面接/口頭試問	大学入試センター試験	合計	配点	100	100	200
	提出書類 小論文 面接/口頭試問	大学入試センター試験	合計								
配点	100	100	200								

	但し、大学入試センター試験の得点の合計が満点中概ね 80%以上であることを目安とします。
--	---

学部名	法学部
入試方法	世界適塾ＡＯ入試
出願資格	次のいずれかに該当する者 1. 高等学校若しくは中等教育学校を平成２８年度中に卒業又は卒業見込みの者 2. 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を平成２８年度中に修了又は修了見込みの者 3. スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局が授与する国際バカロレア資格を平成２８年度中に取得した者又は取得見込みの者で平成２９年３月３１日までに１８歳に達する者
出願要件	次の全てに該当する者とします。 1. 調査書の評定平均値４．３以上の者又は国際バカロレアのスコア３８点以上の者 2. TOEFL-iBT スコア７９点以上の者又は IELTS スコア６．０点以上の者（平成２６年４月１日以降のスコアに限る） 3. 高等学校在学期間に相当する期間での特筆すべき活動を証明する書類（「主な提出書類」のＣに該当する書類）を提出できる者 4. 法学部が定める平成２９年度大学入試センター試験の受験を要する教科・科目を受験する者 5. 合格した場合に、必ず入学することを確約する者
主な提出書類	A. 次の１から４の書類は全員提出してください。 1. 調査書（出願資格３に該当する者は調査書の代わりに成績証明書を提出してください） 2. TOEFL の Examinee's Score Record の原本又は IELTS の Test Report Form の原本 3. 志望理由書 4. 志願者評価書（高等学校長が作成すること） B. 出願資格の３に該当する者は、次の５を提出してください。 5. スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局が授与する国際バカロレア資格を有する者は「国際バカロレア資格証書のコピー」と「国際バカロレア資格最終試験６科目の成績評価証明書の原本」。なお、取得見込みの者は、所属する高等学校等の校長が発行する取得見込み証明書及び Predicted Grades を仮に提出してもらいますが、期限までに「国際バカロレア資格証書のコピー」と「国際バカロレア資格最終試験６科目の成績評価証明書の原本」を提出できない場合は、合格者判定の対象としません。 C. 次の１～８から１つ又は複数の項目に該当する書類を全員提出してください。 1. 外国語に関する高い語学力を証明する書類（英検、TestDaF、DALF、HSK 等） 2. 海外研修又は留学（現地での実質的な研修又は留学期間が１５日以上）の事実を証明する書類（平成２６年４月１日以降の経験に限る） 3. 日本学術会議協力学術研究団体の学会で発表者（予定の者を含む）となったことを証明する書類 4. 日本の大学入試センター試験に相当する各国の大学入学に必要な統一試験を受験した場合は科目別の評価が記載されている試験成績証明書（平成２６年４月１日以降に受験した成績に限る） 5. スーパーグローバルハイスクール（SGH）に指定されている学校において SGH に関連するコースや科目を履修し、得たことを志願者がＡ４用紙１枚にまとめた書類 6. 高等学校等で行った課題研究の実績を証明する書類 7. 高度なリーダーシップ経験（生徒会長等）を証明する書類（平成２６年４月１日以降の

	経験に限る) 8. ボランティアなどの社会貢献活動で卓越した成果を証明する書類（平成26年4月1日以降の成果に限る） D. 次の1～2に該当するものがあれば証明する書類を提出してください。（任意） 1. 高等学校等の正課として行われたインターンシップを行った者はそれを証明する書類とインターンシップの経験で得たことを志願者がA4用紙1枚にまとめた書類 2. 海外研修又は留学（現地での実質的な研修又は留学期間が15日未満）の経験があればその事実を証明する書類（平成26年4月1日以降の経験に限る）										
大学入試センター試験の受験を要する教科・科目	国語 地歴 公民 理科 数学 外国語	国語 世界史B、日本史B、地理B 「倫理、政治・経済」 物理基礎、化学基礎、生物基礎、地学基礎から2 （数学Ⅰ・数学A）と（数学Ⅱ・数学B）の2 英語（リスニング含む）、ドイツ語、フランス語から1	から2 * 1 * 2								
* 1：「基礎を付した科目」から2科目選択することを原則としますが、その他の場合は次のとおり取扱います。 ①「基礎を付した科目」から2科目と、「基礎を付していない科目」から1科目を選択した場合・・・選択した基礎を付した2科目の成績を利用 ②「基礎を付していない科目」から2科目を選択した場合・・・基礎を付していない2科目を、基礎を付した2科目と見なし、2科目の成績を利用。この場合、基礎を付していない科目は1科目ごとに50点満点に換算します。 ③「基礎を付していない科目」のみから1科目だけ選択した場合・・・出願不可 （「基礎を付した科目」とは、物理基礎、化学基礎、生物基礎、地学基礎を指し、「基礎を付していない科目」とは、物理、化学、生物、地学を指します。） * 2：英語は250点満点、他の外国語は200点満点のため、英語を選択した場合、法学科については、筆記試験を175点満点、リスニングを25点満点、国際公共政策学科については、筆記試験を150点満点、リスニングを50点満点、合計200点満点に換算して利用します。											
選抜方法及び選抜基準	1. 第1次選考は、提出書類により選考を行います。 2. 第2次選考は、第1次選考合格者に対し個人面接又は口頭試問を課します。 3. 面接又は口頭試問は、必要に応じ、外国語により行う場合があります。 4. 第2次選考の合格者判定は、提出書類、面接又は口頭試問の結果、大学入試センター試験の成績により行います。配点は、次のとおりとします。なお、大学入試センター試験は、160点満点に換算します。 <table><tr><td></td><td>提出書類 面接/口頭試問</td><td>大学入試 センター試験</td><td>合計</td></tr><tr><td>配点</td><td>40</td><td>160</td><td>200</td></tr></table> 但し、大学入試センター試験の得点の合計が満点中80%以上であることが必要です。				提出書類 面接/口頭試問	大学入試 センター試験	合計	配点	40	160	200
	提出書類 面接/口頭試問	大学入試 センター試験	合計								
配点	40	160	200								

学部名	経済学部
入試方法	世界適塾ＡＯ入試
出願資格	次のいずれかに該当する者 1. 高等学校若しくは中等教育学校を平成２８年度中に卒業又は卒業見込みの者 2. 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を平成２８年度中に修了又は修了見込みの者 3. スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局が授与する国際バカロレア資格を平成２８年度中に取得した者又は取得見込みの者で平成２９年３月３１日までに１８歳に達する者
出願要件	次の全てに該当する者とします。 1. 調査書の評定平均値４．３以上の者又は国際バカロレアのスコア３８点以上の者 2. TOEFL 又は IELTS のスコアを提出できる者（平成２６年４月１日以降のスコアに限る） 3. 高等学校在学期間に相当する期間での特筆すべき活動を証明する書類（「主な提出書類」のＣに該当する書類）を提出できる者 4. 経済学部が定める平成２９年度大学入試センター試験の受験を要する教科・科目を受験する者 5. 合格した場合に、必ず入学することを確約する者
主な提出書類	A. 次の１から４の書類は全員提出してください。 1. 調査書（出願資格３に該当する者は調査書の代わりに成績証明書を提出してください） 2. TOEFL の Examinee's Score Record の原本又は IELTS の Test Report Form の原本 3. 志望理由書 4. 志願者評価書（高等学校長が作成すること） B. 出願資格の３に該当する者は、次の５を提出してください。 1. スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局が授与する国際バカロレア資格を有する者は「国際バカロレア資格証書のコピー」と「国際バカロレア資格最終試験６科目の成績評価証明書の原本」。なお、取得見込みの者は、所属する高等学校等の校長が発行する取得見込み証明書及び Predicted Grades を仮に提出してもらいますが、期限までに「国際バカロレア資格証書のコピー」と「国際バカロレア資格最終試験６科目の成績評価証明書の原本」を提出できない場合は、合格者判定の対象としません。 C. 次の１～１２から１つ又は複数の項目に該当する書類を全員提出してください。 1. 外国語に関する高い語学力を証明する書類（英検、TestDaF、DALF、HSK 等） 2. 海外研修又は留学（現地での実質的な研修又は留学期間が１５日以上）の事実を証明する書類（平成２６年４月１日以降の経験に限る） 3. スーパーサイエンスハイスクール（SSH）生徒研究発表会（文部科学省、独立行政法人科学技術振興機構主催）で、出場者となったことを証明する書類 4. 日本学生科学賞（読売新聞社等主催）で、入選した者および最終審査会進出者（予定の者を含む）となったことを証明する書類 5. ジャパン・サイエンス＆エンジニアリング・チャレンジ（JSEC）高校生科学技術チャレンジ（朝日新聞社主催）で、最終審査会出場者（予定の者を含む）となったことを証明する書類 6. 日本学術会議協力学術研究団体の学会で発表者（予定の者を含む）となったことを証明する書類 7. 日本の大学入試センター試験に相当する各国の大学入学に必要な統一試験を受験した場

	合は科目別の評価が記載されている試験成績証明書（平成26年4月1日以降に受験した成績に限る） 8. スーパーサイエンスハイスクール（SSH）に指定されている学校において SSHに関連するコースや科目を履修し、得たことを志願者がA4用紙1枚にまとめた書類 9. スーパーグローバルハイスクール（SGH）に指定されている学校において SGHに関連するコースや科目を履修し、得たことを志願者がA4用紙1枚にまとめた書類 10. 高等学校等で行った課題研究の実績を証明する書類 11. 高度なリーダーシップ経験（生徒会長等）を証明する書類（平成26年4月1日以降の経験に限る） 12. ボランティアなどの社会貢献活動で卓越した成果を証明する書類（平成26年4月1日以降の成果に限る） D. 次の1～2に該当するものがあれば証明する書類を提出してください。（任意） 1. 高等学校等の正課として行われたインターンシップを行った者はそれを証明する書類とインターンシップの経験で得たことを志願者がA4用紙1枚にまとめた書類 2. 海外研修又は留学（現地での実質的な研修又は留学期間が15日未満）の経験があればその事実を証明する書類（平成26年4月1日以降の経験に限る）																							
大学入試センター試験の受験を要する教科・科目	<table><tr><td>国語</td><td>国語</td><td rowspan="2">}</td><td rowspan="2">から1 *1</td></tr><tr><td>地歴</td><td>世界史B、日本史B、地理B</td></tr><tr><td>公民</td><td>「倫理、政治・経済」</td><td></td><td></td></tr><tr><td>理科</td><td>物理基礎、化学基礎、生物基礎、地学基礎から2</td><td></td><td>*2</td></tr><tr><td>数学</td><td>（数学Ⅰ・数学A）と（数学Ⅱ・数学B）の2</td><td></td><td></td></tr><tr><td>外国語</td><td>英語（リスニング含む）、ドイツ語、フランス語、中国語、韓国語から1</td><td></td><td></td></tr></table> *3	国語	国語	}	から1 *1	地歴	世界史B、日本史B、地理B	公民	「倫理、政治・経済」			理科	物理基礎、化学基礎、生物基礎、地学基礎から2		*2	数学	（数学Ⅰ・数学A）と（数学Ⅱ・数学B）の2			外国語	英語（リスニング含む）、ドイツ語、フランス語、中国語、韓国語から1			
国語	国語	}	から1 *1																					
地歴	世界史B、日本史B、地理B																							
公民	「倫理、政治・経済」																							
理科	物理基礎、化学基礎、生物基礎、地学基礎から2		*2																					
数学	（数学Ⅰ・数学A）と（数学Ⅱ・数学B）の2																							
外国語	英語（リスニング含む）、ドイツ語、フランス語、中国語、韓国語から1																							
*1：第1解答科目の成績を利用します。 *2：「基礎を付した科目」から2科目選択することを原則としますが、その他の場合は次のとおり取扱います。 ①「基礎を付した科目」から2科目と、「基礎を付していない科目」から1科目を選択した場合・・・選択した基礎を付した2科目の成績を利用 ②「基礎を付していない科目」から2科目を選択した場合・・・基礎を付していない2科目を、基礎を付した2科目と見なし、2科目の成績を利用。この場合、基礎を付していない科目は1科目ごとに50点満点に換算します。 ③「基礎を付していない科目」のみから1科目だけ選択した場合・・・出願不可（「基礎を付した科目」とは、物理基礎、化学基礎、生物基礎、地学基礎を指し、「基礎を付していない科目」とは、物理、化学、生物、地学を指します。） *3：英語は250点満点、他の外国語は200点満点のため、英語を選択した場合は筆記試験を180点満点、リスニングを20点満点、合計200点満点に換算して利用します。																								

選抜方法及び選抜基準

- 第1次選考は、提出書類により選考を行います。
- 第2次選考は、第1次選考合格者に対し個人面接又は口頭試問を課します。
- 面接又は口頭試問は、必要に応じ、外国語により行う場合があります。
- 第2次選考の合格者判定は、提出書類、面接又は口頭試問の結果、大学入試センター試験の成績により行います。配点は、次のとおりとします。なお、大学入試センター試験は、100点満点に換算します。

	提出書類 面接/口頭試問	大学入試センター試験	合計
配点	100	100	200

但し、大学入試センター試験の得点の合計が満点中 80%以上であることが必要です。

学部名	理学部
入試方法	世界適塾ＡＯ入試（研究奨励型）
出願資格	次のいずれかに該当する者とします 1. 高等学校若しくは中等教育学校を平成２８年度中に卒業又は卒業見込みの者 2. 通常の課程による１２年の学校教育を平成２８年度中に修了又は修了見込みの者 3. 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設の当該課程を平成２８年度中に修了又は修了見込みの者 4. 専修学校の高等課程で文部科学大臣が別に指定するものを平成２８年度中に修了又は修了見込みの者 5. 学校教育法施行規則（昭和２２年文部省令第１１号）第１５０条第７号の規定により、本学において、個別の入学資格審査により高等学校を平成２８年度中に卒業又は卒業見込みの者と同等以上の学力があると認められた者で、平成２９年３月３１日までに１８歳に達する者
出願要件	次の全てに該当する者とします 1. 高等学校等において、数学、物理学、化学、生物学、地学など科学分野の優れた自由研究を行い、次のいずれかに該当する者（予定の者を含む） ・スーパーサイエンスハイスクール（SSH）生徒研究発表会（文部科学省、独立行政法人科学技術振興機構主催）で、平成２６年度から平成２８年度の間に、出場者となった者 ・日本学生科学賞（読売新聞社等主催）で、平成２６年度から平成２８年度の間に、入選した者および最終審査会進出者となった者（予定の者を含む） ・ジャパン・サイエンス&エンジニアリング・チャレンジ（JSEC）高校生科学技術チャレンジ（朝日新聞社主催）で、平成２６年度から平成２８年度の間に、最終審査会出場者となった者（予定の者を含む） ・日本学術会議協力学術研究団体主催の学会（*）での発表者（予定の者を含む） （*）志望する学科で指定されている学会名等は次の通りである。 化学科：日本化学会（支部の会合を含む） 生物科学科：学会名は指定しない。 2. 理学部の志望する学科（コース）が定める平成２９年度大学入学者選抜大学入試センター試験の受験を要する教科・科目を受験する者 3. 合格した場合に、必ず入学することを確約する者
主な提出書類	次の１から４の書類を全員提出してください。 1. 志願理由書 2. 研究成果概要（３種類） 高等学校等において、自ら、又はグループで行った数学、物理学、化学、生物学、地学などの科学分野の研究で、出願要件とする発表会やコンテストに提出した研究内容等について、次の３種類の書類を作成してください。 「Ａ 研究の要旨」 研究の要旨を５００字程度で作成してください。 「Ｂ 研究の内容」 研究の内容や成果等をＡ４用紙７枚以内で作成してください。 「Ｃ 研究に対する志願者の貢献度」 研究に対する志願者の貢献度（指導教員などの関わり等を含む）を記入してください。 3. 調査書 4. 上記「出願要件」の１を満たしていることを証明できる書類

	※発表会やコンテストの主催者が本人又は学校に送付等しているもので志願者本人の氏名が記載されている確認可能なもの（コピー可）、もしくは、本学所定の用紙に所属学校長が証明したものとします。						
大学入試センター試験の受験を要する教科・科目	化学科 生物科学科 (生物科学コース)	国語	国語				
		地歴 公民 理科 数学	世界史B、日本史B、地理B 「倫理、政治・経済」 } から1 *1 物理、化学、生物、地学から2 (数学Ⅰ・数学A)と(数学Ⅱ・数学B、簿記・会計、情報関係基礎 から1)の2 *2				
	外国語	英語(リスニング含む)、ドイツ語、フランス語、中国語、韓国語から1 *3					
	生物科学科 (生命理学コース)	国語	国語				
	地歴 公民 理科 数学	世界史B、日本史B、地理B 「倫理、政治・経済」 } から1 *1 (物理)と(化学、生物、地学から1)の2 (数学Ⅰ・数学A)と(数学Ⅱ・数学B、簿記・会計、情報関係基礎 から1)の2 *2					
	外国語	英語(リスニング含む)、ドイツ語、フランス語、中国語、韓国語から1 *3					
	*1：第1解答科目の成績を利用します。 *2：「簿記・会計」、「情報関係基礎」を選択解答できる者は、高等学校又は文部科学大臣の指定を受けた専修学校の高等課程において、これらの科目を履修した者に限ります。 *3：英語は250点満点、他の外国語は200点満点のため、英語を選択した場合は筆記試験を160点満点、リスニングを40点満点、合計200点満点に換算して利用します。						
選抜方法及び選抜基準	1. 第1次選考は、提出書類により選考を行います。 2. 第2次選考は、第1次選考合格者に対し、研究発表と口頭試問を課します。 3. 第2次選考の最終合格者判定は、提出書類、大学入試センター試験の成績、第2次選考の研究発表と口頭試問の結果を総合して行います。 なお、大学入試センター試験の配点は、次のとおりです。						
	国語	地理歴史	公民	理科	数学	外国語	合計
	200	100		200	200	200	900

学部名	理学部		
入試方法	世界適塾ＡＯ入試（挑戦型）		
出願資格	次のいずれかに該当する者とします １．高等学校若しくは中等教育学校を平成２８年度中に卒業又は卒業見込みの者 ２．通常の課程による１２年の学校教育を平成２８年度中に修了又は修了見込みの者 ３．文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設の当該課程を平成２８年度中に修了又は修了見込みの者 ４．専修学校の高等課程で文部科学大臣が別に指定するものを平成２８年度中に修了又は修了見込みの者 ５．学校教育法施行規則（昭和２２年文部省令第１１号）第１５０条第７号の規定により、本学において、個別の入学資格審査により高等学校を平成２８年度中に卒業又は卒業見込みの者と同等以上の学力があると認められた者で、平成２９年３月３１日までに１８歳に達する者		
出願要件	次の全てに該当する者とします。 １．高等学校等において、数学、物理学、化学、生物学、地学など基礎科学分野の学問・研究に強い興味を持つ者 ２．理学部の志望する学科（コース）が定める平成２９年度大学入学者選抜大学入試センター試験の受験を要する教科・科目を受験する者 ３．合格した場合に、必ず入学することを確約する者		
主な提出書類	次の１から５の書類を全員提出してください。 １．志願理由書 ２．高等学校等で行った課外活動の実績（自由研究、海外留学、社会貢献活動、国際科学オリンピック国内予選や各種サマープログラム参加などについて志願者が作成） ３．教員（理数系に限らない）の意見書（２通又は３通。志願者の長所や上記２の課外活動の内容について、本学所定の用紙に記載する） ４．調査書 ５．上記２の課外活動の実績を証明できる書類		
大学入試センター試験の受験を要する教科・科目	数学科 化学科 生物科学科 （生物科学コース）	国語 地歴 公民 理科 数学 外国語	国語 世界史Ｂ、日本史Ｂ、地理Ｂ 「倫理、政治・経済」 物理、化学、生物、地学から２ （数学Ⅰ・数学Ａ）と（数学Ⅱ・数学Ｂ、簿記・会計、情報関係基礎 から１）の２ 英語（リスニング含む）、ドイツ語、フランス語、中国語、韓国語から１
	物理学科 生物科学科 （生命理学コース）	国語 地歴 公民 理科 数学 外国語	国語 世界史Ｂ、日本史Ｂ、地理Ｂ 「倫理、政治・経済」 （物理）と（化学、生物、地学から１）の２ （数学Ⅰ・数学Ａ）と（数学Ⅱ・数学Ｂ、簿記・会計、情報関係基礎 から１）の２ 英語（リスニング含む）、ドイツ語、フランス語、中国語、韓国語から１
	＊１：第１解答科目の成績を利用します。 ＊２：「簿記・会計」、「情報関係基礎」を選択解答できる者は、高等学校又は文部科学大臣の		

	指定を受けた専修学校の高等課程において、これらの科目を履修した者に限ります。 * 3 : 英語は 250 点満点、他の外国語は 200 点満点のため、英語を選択した場合は筆記試験を 160 点満点、リスニングを 40 点満点、合計 200 点満点に換算して利用します。														
選抜方法及び選抜基準	1. 第 1 次選考は、提出書類と大学入試センター試験の成績を総合して選考を行います。 2. 第 2 次選考は、第 1 次選考合格者に対し、小論文と口頭試問を課し、希望学科への適性や基礎学力、思考力を問います。 3. 第 2 次選考の最終合格者判定は、提出書類、大学入試センター試験の成績、第 2 次選考の小論文と口頭試問の結果を総合して決定します。 4. 大学入試センター試験の配点は、次のとおりです。 <table><tr><td>国語</td><td>地理歴史</td><td>公民</td><td>理科</td><td>数学</td><td>外国語</td><td>合計</td></tr><tr><td>200</td><td colspan="2">100</td><td>200</td><td>200</td><td>200</td><td>900</td></tr></table>	国語	地理歴史	公民	理科	数学	外国語	合計	200	100		200	200	200	900
国語	地理歴史	公民	理科	数学	外国語	合計									
200	100		200	200	200	900									

学部名	医学部医学科
入試方法	世界適塾推薦入試
出願資格	次のいずれかに該当する者 1. 高等学校若しくは中等教育学校を平成28年度中に卒業又は卒表見込みの者 2. 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を平成28年度中に修了又は修了見込みの者 3. 専修学校の高等課程で文部科学大臣が別に指定するものを平成28年度中に修了又は修了見込みの者 4. 学校教育法施行規則（昭和22年文部省令第11号）第150条第7号の規定により、本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を平成28年度中に卒業又は卒業見込みの者と同等以上の学力があると認められた者で、平成29年3月31日までに18歳に達する者
出願要件	次の要件に全て該当する者とし、ただし、推薦人員は1校につき2名以内とし、願書は当該高等学校等の長から提出してください。 1. 医学部医学科が掲げるアドミッション・ポリシーに合致する、人物及び学業ともに優れ、高等学校等の長が責任を持って推薦できる者 2. 調査書の評定平均値4.3以上であり、かつ、数学、理科（地学及び基礎を付した科目を除く）の評定平均値が4.5以上の者 3. TOEFL-iBT スコア80点以上の者又は IELTS スコア6.0点以上の者（平成26年4月1日以降のスコアに限る） 4. 医学部医学科が定める平成29年度大学入試センター試験の受験を要する教科・科目を受験する者 5. 合格した場合に、必ず入学することを確約する者
主な提出書類	A. 次の1から5の書類は全員提出してください。 1. 調査書 2. TOEFL の Examinee's Score Record の原本又は IELTS の Test Report Form の原本 3. あなたがこれまでの人生で達成したこと、誇りとしていることなどを踏まえて、医学部を志望する理由書（A4用紙1枚1,600字詰め） 4. 推薦書・志願者評価書（高等学校等の長が作成すること） 5. 医学部医学科のアドミッション・ポリシーに合致する人材であることを証明する高等学校の担任等が作成した推薦理由書（A4用紙1枚1,600字詰め） B. 面接時の自己PR資料について（任意） あなたがこれまでの人生（高校時代に限定しません。）で達成したこと、誇りとしていることなどを証明する物の写しを提出してください。また、その活動（提出する写し全て）の要約を400字以内で作成し併せて提出してください。 （例） ・ 公的機関（JST：独立行政法人科学技術振興機構等）が主催する世界大会等において日本代表になったことを証明する書類 ・ スポーツ大会、コンクールなどで顕著な成績を修めた表彰状など ・ ボランティアなどの社会貢献活動で卓越した実績を証明する書類 ・ 高等学校等で行った課題研究等の実績を証明する書類 〔医学部医学科が求める人物（アドミッション・ポリシーより抜粋）〕 ○ 物事の本質を見極め適切な判断を迅速に下せる人

	○ 自由な発想と豊かな想像力により独創的な提案のできる人 ○ 倫理をわきまえ豊かな人間性を身につけて社会と交流できる人 ○ 自らの信念を貫徹する強い意志と他人の考えも受け入れる柔軟性を併せ持つ人										
大学入試センター試験の受験を要する教科・科目	国語	国語									
	地歴 公民 理科 数学 外国語	世界史B、日本史B、地理B 「倫理、政治・経済」 物理、化学、生物から2 (数学Ⅰ・数学A)と(数学Ⅱ・数学B)の2 英語(リスニング含む)、ドイツ語、フランス語、中国語、韓国語から1 から1 *1 *2									
	*1：第1解答科目の成績を利用します。 *2：英語は250点満点、他の外国語は200点満点のため、英語を選択した場合は筆記試験を180点満点、リスニングを20点満点、合計200点満点に換算して利用します。										
選抜方法及び選抜基準	1. 志願者数が60名を超えた場合は、次のとおり第1次選考を実施します。 指定する大学入試センター試験の成績の総点(*3)が900点満点中720点以上の者のうちから成績上位60名までの者を第1次選考合格者としします。 2. 第2次選考は、第1次選考合格者に対し小論文(※4)を課します。また、面接(※5)は筆記試験(大学入試センター試験及び小論文)合格者(成績上位20名)に対して実施します。筆記試験の配点は、次のとおりとします。なお、大学入試センター試験は、50点満点に換算します。 <table><tr><td></td><td>大学入試センター試験</td><td>小論文</td><td>合計</td></tr><tr><td>配点</td><td>50</td><td>50</td><td>100</td></tr></table> 3. 第2次選考の最終合格者判定は、提出書類、筆記試験及び面接結果を医学部医学科が掲げるアドミッション・ポリシーに照らし合わせ総合的に評価します。 ※3. 大学入試センター試験の素点を用います。なお、英語は※2の換算点を用います。 ※4. 小論文(180分)小論文の形式は、文章(英文含む)読解論述型・資料分析型・テーマ型・理科論述型など客観的評価ができるようこれらを組み合わせて出題します。 ※5. 面接は、個人面接(30分)を2回行います。なお、面接の結果によって、医師及び医学研究者になる適性に欠けると判断された場合は、不合格とします。				大学入試センター試験	小論文	合計	配点	50	50	100
	大学入試センター試験	小論文	合計								
配点	50	50	100								

学部名	医学部保健学科
入試方法	世界適塾推薦入試
出願資格	次のいずれかに該当する者 1. 高等学校又は中等教育学校を平成28年度中に卒業又は卒表見込みの者 2. 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を平成28年中に修了又は修了見込みの者 3. 専修学校の高等課程で文部科学大臣が別に指定するものを平成28年度中に修了又は修了見込みの者 4. 学校教育法施行規則（昭和22年文部省令第11号）第150条第7号の規定により、本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を平成28年度中に卒業又は卒業見込みの者と同等以上の学力があると認められた者で、平成29年3月31日までに18歳に達する者
出願要件	次の要件に全て該当する者とし、ただし、推薦人員枠は1校につき各専攻（看護学専攻、放射線技術科学専攻、検査技術科学専攻）で1名とし、願書は当該高等学校等の長から提出してください。 1. 医学部保健学科が掲げるアドミッション・ポリシーに合致する、人物及び学業ともに優れ、高等学校等の長が責任を持って推薦できる者。 2. 調査書の評定平均値4.3以上であり、かつ、数学及び理科の評定平均値がそれぞれ4.5以上の者 3. TOEFL-iBT スコア80点以上の者又は IELTS スコア6.0点以上の者（平成26年4月1日以降のスコアに限る） 4. 医学部保健学科が掲げるアドミッション・ポリシーに合致する活動を証明する書類（「主な提出書類」のBに該当する書類）を提出できる者 5. 医学部保健学科が定める平成29年度大学入試センター試験の受験を要する教科・科目を受験する者 5. 合格した場合に、必ず入学することを確約する者
主な提出書類	A. 次の1から5の書類は全員提出してください。 1. 調査書 2. TOEFL の Examinee's Score Record の原本又は IELTS の Test Report Form の原本 3. 医学部保健学科が掲げるアドミッション・ポリシーに合致する活動の下に保健学科を志望する理由書（A4用紙1枚1,600字詰め） 4. 推薦書・志願者評価書（高等学校等の長が作成すること） 5. 医学部保健学科のアドミッション・ポリシーに合致する人材であることを証明する高等学校の担任等が作成した推薦理由書（A4用紙1枚1,600字詰め） B. 面接時の自己PR資料について 医学部保健学科が掲げるアドミッション・ポリシーに合致する、あなたがこれまでの人生（高校時代に限定しません。）で達成したこと、誇りとしていることなどを証明する物の写真を提出してください。 （医学部保健学科が求める人物）（アドミッション・ポリシーより抜粋） 1. 保健医療科学の分野で自ら新しい道を切り開いていこうとする意欲を持った人 2. 他領域、他分野と協力しつつ保健学を実践することに興味がある人 3. 国際的視野にたって個人、集団を考えられる人 4. 高い倫理観と豊かな人間性を持つ人

	(例) ・ 公的機関（JST：独立行政法人科学技術振興機構等）が主催する世界大会等において日本代表になったことを証明する書類 ・ 英検や漢検などの成績証明書 ・ スポーツ大会、コンクールなど学内外で受けた表彰状など ・ 小学校からずっと皆勤を通してしている場合などはそれを証明する通信簿など ・ 課題研究の実績を証明する書類 ・ 外国語に関する高い語学力を証明する書類（英検、TestDaF、DALF、HSK 等） ・ 海外研修又は留学（現地での実質的な研修又は留学期間が15日以上）の事実を証明する書類 ・ スーパーサイエンスハイスクール（SSH）生徒研究発表会（文部科学省、独立行政法人科学技術振興機構主催）で、出場者となったことを証明する書類 ・ 日本学生科学賞（読売新聞社等主催）で、入選した者および最終審査会進出者（予定の者を含む）となったことを証明する書類 ・ ジャパン・サイエンス&エンジニアリング・チャレンジ（JSEC）高校生科学技術チャレンジ（朝日新聞社主催）で、最終審査会出場者（予定の者を含む）となったことを証明する書類 ・ 日本学術会議協力学術研究団体の学会で発表者（予定の者を含む）となったことを証明する書類 ・ 日本の大学入試センター試験に相当する各国の大学入学に必要な統一試験を受験した場合は科目別の評価が記載されている試験成績証明書 ・ スーパーサイエンスハイスクール（SSH）に指定されている学校において SSH に関連するコースや科目を履修し、得たことを志願者がA4用紙1枚にまとめた書類 ・ スーパーグローバルハイスクール（SGH）に指定されている学校において SGH に関連するコースや科目を履修し、得たことを志願者がA4用紙1枚にまとめた書類 ・ 高度なリーダーシップ経験（生徒会長等）を証明する書類 ・ ボランティアなどの社会貢献活動で卓越した成果を証明する書類										
大学入試センター試験の受験を要する教科・科目	国語 地歴 公民 理科 数学 外国語	<table><tr><td>国語</td><td rowspan="2">} から1 *1</td></tr><tr><td>世界史B、日本史B、地理B 「倫理、政治・経済」</td></tr><tr><td>物理、化学、生物、地学から2</td><td></td></tr><tr><td>（数学Ⅰ・数学A）と（数学Ⅱ・数学B）の2</td><td></td></tr><tr><td>英語（リスニング含む）、ドイツ語、フランス語、中国語、韓国語から1</td><td></td></tr></table> * 2	国語	} から1 *1	世界史B、日本史B、地理B 「倫理、政治・経済」	物理、化学、生物、地学から2		（数学Ⅰ・数学A）と（数学Ⅱ・数学B）の2		英語（リスニング含む）、ドイツ語、フランス語、中国語、韓国語から1	
国語	} から1 *1										
世界史B、日本史B、地理B 「倫理、政治・経済」											
物理、化学、生物、地学から2											
（数学Ⅰ・数学A）と（数学Ⅱ・数学B）の2											
英語（リスニング含む）、ドイツ語、フランス語、中国語、韓国語から1											
	* 1：第1解答科目の成績を利用します。 * 2：英語は250点満点、他の外国語は200点満点のため、英語を選択した場合は筆記試験を180点満点、リスニングを20点満点、合計200点満点に換算して利用します。										
選抜方法及び選抜基準	1. 第1次選考は、大学入試センター試験の得点の合計が満点中80%以上である者を合格とします。なお、各専攻で大学入試センター試験の得点の合計が満点中80%以上である者が20名を超えた場合は、それらの者のうちから専攻毎に成績上位20名までの者を第1次選考の合格者とします。 2. 第2次選考は、第1次選考合格者に対し面接（集団面接を含む）を課します。 3. 第2次選考の最終合格者判定は、提出書類、大学入試センター試験の得点、面接結果を医学部保健学科が掲げるアドミッション・ポリシーに照らし合わせ総合的に評価します。										

学部名	歯学部	
入試方法	世界適塾推薦入試	
出願資格	次のいずれかに該当する者 1. 高等学校若しくは中等教育学校を平成27年度中に卒業した者又は平成28年度中に卒業又は卒業見込みの者 2. 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設の当該課程を平成27年度中に修了した者又は平成28年度中に修了又は修了見込みの者 3. 専修学校の高等課程で文部科学大臣が別に指定するものを平成27年度中に修了した者又は平成28年度中に修了又は修了見込みの者 4. 学校教育法施行規則（昭和22年文部省令第11号）第150条第7号の規定により、本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を平成27年度中に卒業した者又は平成28年度中に卒業又は卒業見込みの者と同等以上の学力があると認められた者で、平成29年3月31日までに18歳に達するもの	
出願要件	次の全てに該当する者とし、なお、推薦人員枠は1校につき2名以内とし、願書は当該高等学校等の長から提出してください。 1. 歯学部が掲げるアドミッション・ポリシーに合致する者で、人物及び学業ともに優れ、高等学校等の長が責任を持って推薦できる者 2. 調査書の評定平均値4.3以上の者 3. TOEFL-iBT スコア80点以上の者又は IELTS スコア6.5点以上の者又は英検準1級以上の者（TOEFL-iBT 及び IELTS は平成27年4月1日以降のスコアに限る） 4. 歯学部が定める平成29年度大学入試センター試験の受験を要する教科・科目を受験する者 5. 合格した場合に、必ず入学することを確約する者	
主な提出書類	次の1から4の書類を全員提出してください。 1. 自己推薦書（志願者が作成） 2. 推薦書（高等学校等の長が作成） 3. 調査書 4. TOEFL の Examinee's Score Record の原本又は IELTS の Test Report Form の原本又は英検準1級以上の合格証明書の原本	
大学入試センター試験の受験を要する教科・科目	理科 数学	物理、化学、生物から2 （数学Ⅰ・数学A）と（数学Ⅱ・数学B）の2
選抜方法及び選抜基準	1. 第1次選考の合格者判定は、提出書類の総合評価により行い、募集人員の約3倍までを合格者とし、第1次選考合格者に対して面接を課します。 2. 第2次選考は、第1次選考合格者に対して面接を課します。 3. 面接は、医療人になるための適性や明確な目的意識を持っている者を積極的に受け入れることを目的に行い、①全般的態度 ②受験の動機、目的、意識 ③意欲、積極性 ④協調性、柔軟性 ⑤生命科学の勉学・研究に必要な適性と能力 を評価します。 4. 面接は、個人面接を行います。なお、必要に応じ、英語により行う場合があります。 5. 第2次選考の合格者判定は、面接の結果及び大学入試センター試験の成績の総合評価により行います。 6. 第2次選考におけるセンター試験の配点は次のとおりとします。ただし、理科（物理、化学、生物から2）の第1解答科目、第2解答科目、及び数学の2科目（（数学Ⅰ・数学A）と（数学Ⅱ・数学B））の各科目の得点が、それぞれの配点において80%以上であ	

	ることが必要です。			
	理科		数学	
	第 1 解答科目	第 2 解答科目	数学 I ・数学 A	数学 II ・数学 B
	1 0 0	1 0 0	1 0 0	1 0 0

学部名	薬学部	
入試方法	世界適塾推薦入試	
出願資格	次のいずれかに該当する者 1. 高等学校若しくは中等教育学校を平成28年3月に卒業した者又は平成28年度中に卒業又は卒業見込みの者 2. 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設の当該課程を平成28年3月に修了した者又は平成28年度中に修了又は修了見込みの者 3. 専修学校の高等課程で文部科学大臣が指定するものを平成28年3月に卒業した者又は平成28年度中に修了又は修了見込みの者 4. 学校教育法施行規則（昭和22年文部省令第11号）第150条第7号の規定により、本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を平成28年3月に卒業した者又は平成28年度中に卒業又は卒業見込みの者と同等以上の学力があると認められた者で、平成29年3月31日までに18歳に達する者	
推薦要件	次の全てに該当する者とし、推薦人員枠は1校で本学部1学科につき2名以内とし、願書は当該高等学校等の長から提出してください。 1. 志願する学科における学問・研究に強い興味を持ち、人物及び学業ともに優れ、高等学校校長等の等が責任を持って推薦できる者 2. 薬学部が定める平成29年度大学入試センター試験の受験を要する教科・科目を受験する者 3. 合格した場合に、必ず入学することを確約する者	
主な提出書類	A. 次の1から3の書類を全員提出してください。 1. 調査書 2. 自己推薦書（志願者が作成） 3. 推薦書（高等学校等の長が作成） B. 次に該当する書類があれば提出してください。 1. 高等学校等で行った課題研究の実績を証明する書類	
大学入試センター試験の受験を要する教科・科目	国語 地歴 公民 理科 数学 外国語	国語 世界史B、日本史B、地理B 「倫理、政治・経済」 物理、化学、生物から2 （数学Ⅰ・数学A）と（数Ⅱ・数B、簿記・会計、情報関係基礎から1） 英語（リスニング含む）、ドイツ語、フランス語、中国語、韓国語から1 から1 *1 の2 *2 *3 *1：第1解答科目の成績を利用します。 *2：「簿記・会計」「情報関係基礎」を選択解答できる者は、高等学校又は文部科学大臣の指定を受けた専修学校の高等課程において、これらの科目を履修した者に限ります。 *3：英語は250点満点、他の外国語は200点満点のため、英語を選択した場合は筆記試験を160点満点、リスニングを40点満点、合計200点満点に換算して利用します。
選抜方法及び選抜基準	1. 志願者数が募集人員に対し約2倍を超えた場合は、大学入試センター試験の総点及び調査書等により、第1次選考を行います。 2. 第2次選考は、第1次選考合格者に対し小論文及び面接を課します。 小論文	

(自然科学の勉学・研究に必要な適性と能力を総合判定します。出題については、英語を使用することもあります。)

面接

(面接は、人間性と創造性の豊かな薬学研究者・薬剤師としての適性をみるために行い、一般的態度、思考の柔軟性、発言内容の論理性等及び提出書類の内容を含めて評価します。面接は個人面接を2回行います。)

3. 第2次選考の合格者判定は、小論文、面接の結果、大学入試センター試験の成績により行います。配点は、次のとおりとします。

	国語	地理 歴史	公民	理科	数学	外国語	その他		合計	総合計
センター試験	150	50		200	200	150			750	1,000
推薦入試							小論文	面接	250	
							100	150		

学部名	工学部
入試方法	世界適塾推薦入試
出願資格	次のいずれかに該当する者とします 1. 高等学校若しくは中等教育学校を平成28年度中に卒業又は卒業見込みの者 2. 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設の当該課程を平成28年度中に修了又は修了見込みの者 3. 専修学校の高等課程で文部科学大臣が別に指定するものを平成28年度中に修了又は修了見込みの者
推薦要件	次の1又は2のいずれかに該当し、かつ3に該当する者とします。なお、推薦人員枠は1校で1学科につき2名以内とし、出願書類は当該高等学校等の長から提出してください。 1. 志願する学科における学問・研究に強い興味を持ち、人物及び学業ともに優れ、高等学校等の長が責任を持って推薦できる者で、合格した場合には入学を確約できる者 2. 高等学校等において、数学、物理学、化学、生物学、地学など科学分野の優れた自由研究を行い、次のいずれかに該当（予定の者を含む）し、高等学校等の長が責任を持って推薦できる者で、合格した場合には入学を確約できる者 ①スーパーサイエンスハイスクール（SSH）生徒研究発表会（文部科学省、独立行政法人科学技術振興機構主催）で、平成26年度から平成28年度の間に、出場者となった者 ②平成26年度から平成28年度の間に開催された全国規模の科学分野のコンテスト等で優れた成績をあげたと認められる者 3. 工学部が定める平成29年度大学入学選抜大学入試センター試験の受験を要する教科・科目を受験する者
主な提出書類	1. 推薦要件の1で出願する場合は、次の①～③の出願書類を全員提出してください。 ①自己推薦書（志願者が作成） ②推薦書（高等学校等の長が作成） ③調査書 2. 推薦要件の2で出願する場合は、次の①～⑤の出願書類を全員提出してください。 ①志願理由書 ②推薦書（高等学校等の長が作成） ③研究成果概要（3種類） 高等学校等において、自ら、又はグループで行った数学、物理学、化学、生物学、地学などの科学分野の研究で、推薦要件とする発表会やコンテストに提出した研究内容等について、次の3種類の書類を作成してください。 「A 研究の要旨」 研究の要旨を500字程度で作成してください。 「B 研究の内容」 研究の内容や成果等をA4用紙7枚以内で作成してください。 「C 研究に対する志願者の貢献度」 研究に対する志願者の貢献度（指導教員などの関わり等を含む）を記入してください。 ④調査書 ⑤上記「推薦要件」の2を満たしていることを証明できる書類 ※発表会やコンテストの主催者が本人又は学校に送付等しているもので志願者本人の氏名が記載されている確認可能なもの（コピー可）、もしくは、本学所定の用紙に所属学校長が証明したものとします。

	3. 1又は2に加えて、次の①～②に該当するものがあれば、証明する書類を提出してください。 ①高等学校等で行った課題研究の実績を証明する書類 ②英語検定試験（英検、TOEIC、TOEFL 等）の成績を証明する書類（高等学校等在学中に受検したものに限り）						
大学入試センター試験の受験を要する教科・科目	国語	国語					
	地歴	世界史B、日本史B、地理B					} から1 *1
公民	「倫理、政治・経済」						
理科	物理、化学、生物、地学から2						
数学	（数学Ⅰ・数学A）と（数学Ⅱ・数学B、簿記・会計、情報関係基礎から1） の2 *2						
外国語	英語（リスニング含む）、ドイツ語、フランス語、中国語、韓国語から1 *3						
	*1：第1解答科目の成績を利用します。 *2：「簿記・会計」、「情報関係基礎」を選択解答できる者は、高等学校又は文部科学大臣の指定を受けた専修学校の高等課程において、これらの科目を履修した者に限ります。 *3：英語は250点満点、他の外国語は200点満点のため、英語を選択した場合は筆記試験を160点満点、リスニングを40点満点、合計200点満点に換算して利用します。						
選抜方法及び選抜基準	1. 第1次選考は、出願書類により書類審査を行います。 2. 第2次選考は、第1次選考合格者に対し口頭試問を行います。 3. 第2次選考の合格者判定は、口頭試問の結果と大学入試センター試験の成績を総合して行います。 なお、大学入試センター試験の配点は、次のとおりです。						
	国語	地理歴史	公民	理科	数学	外国語	合計
	200	100		200	200	200	900

学部名	基礎工学部																				
入試方法	世界適塾推薦入試																				
出願資格	次のいずれかに該当する者 1. 高等学校若しくは中等教育学校を平成28年度中に卒業又は卒業見込みの者 2. 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設の当該課程を平成28年度中に修了又は修了見込みの者 3. 専修学校の高等課程で文部科学大臣が別に指定するものを平成28年度中に修了又は終了見込みの者 4. 学校教育法施行規則（昭和22年文部省令第11号）第150条第7号の規定により、本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を平成28年度中に卒業又は卒業見込みの者と同等以上の学力があると認められた者で、平成29年3月31日までに18歳に達するもの																				
推薦要件	次の全てに該当する者とし、推薦人員枠は1校で1学科につき2名以内とし、願書は当該高等学校等の長から提出してください。 1. 志願する学科における学問・研究に強い興味を持ち、人物及び学業ともに優れ、高等学校等の長が責任を持って推薦できる者 2. 合格した場合には入学を確約できる者 3. 基礎工学部が定める平成29年度大学入試センター試験の受験を要する教科・科目を受験する者																				
主な提出書類	A. 次の1から3の書類を全員提出してください。 1. 自己推薦書（志願者が作成） 2. 推薦書（高等学校等の長が作成） 3. 調査書 B. 次に該当する書類があれば提出してください。 1. 高等学校等で行った課題研究の実績を証明する書類																				
大学入試センター試験の受験を要する教科・科目	国語	国語																			
	地歴 公民 理科 数学	世界史B、日本史B、地理B 「倫理、政治・経済」 （物理）と（化学、生物から1）の2 （数学Ⅰ・数学A）と（数学Ⅱ・数学B、簿記・会計、情報関係基礎から1） の2 *2																			
	外国語	英語（リスニング含む）、ドイツ語、フランス語、中国語、韓国語から1 *3																			
	*1：第1解答科目の成績を利用します。 *2：「簿記・会計」、「情報関係基礎」を選択解答できる者は、高等学校又は文部科学大臣の指定を受けた専修学校の高等課程において、これらの科目を履修した者に限ります。 *3：英語は250点満点、他の外国語は200点満点のため、英語を選択した場合は筆記試験を160点満点、リスニングを40点満点、合計200点満点に換算して利用します。																				
選抜方法及び選抜基準	1. 志願者数が募集人員に対し約2倍を超えた場合は、大学入試センター試験の成績の総点及び調査書等により、第1次選考を行います。 <table><tr><td>国語</td><td>地理歴史</td><td>公民</td><td>理科</td><td>数学</td><td>外国語</td><td>合計</td></tr><tr><td>100</td><td>75</td><td></td><td>200</td><td>200</td><td>125</td><td>700</td></tr></table> 2. 第2次選考は、第1次選考合格者に対し個人面接又は口頭試問を課します。							国語	地理歴史	公民	理科	数学	外国語	合計	100	75		200	200	125	700
国語	地理歴史	公民	理科	数学	外国語	合計															
100	75		200	200	125	700															

学部名	理学部、工学部、基礎工学部の共同実施
入試方法	国際科学オリンピックAO入試
出願資格	1～3については、該当資格を平成28年度中に初めて取得した者又は取得見込みの者。また4については、平成28年度中に入学資格審査を申請できる要件を初めて取得した者又は取得見込みの者。 1. 高等学校若しくは中等教育学校を卒業した者及び平成29年3月31日までに卒業見込みの者 2. 通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び平成29年3月31日までに修了見込みの者 3. 学校教育法施行規則（昭和22年文部省令第11号）第150条第1号から第5号の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者及び平成29年3月31日までにこれに該当する見込みの者 4. 学校教育法施行規則（昭和22年文部省令第11号）第150条第7号の規定により、本学において、個別の入学資格審査により高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、平成29年3月31日までに18歳に達するもの
出願要件	下記の1～6のいずれかの国際科学コンテストに日本代表として出場した者。ただし、過去3年間（2014年～2016年）の日本代表に限ります。 1. 国際数学オリンピック 2. 国際物理オリンピック 3. 国際化学オリンピック 4. 国際生物学オリンピック 5. 国際地学オリンピック 6. 国際情報オリンピック
主な提出書類	次の1から2の書類を全員提出してください。 1. 志願理由書 2. 国際科学コンテストに日本代表として出場したことが確認できるもの
大学入試センター試験の受験を要する教科・科目	大学入試センター試験は課しません。
選抜方法及び選抜基準	大学入試センター試験、個別学力検査は課しません。推薦書も不要です。 出願要件に記載する国際科学コンテストに日本代表として出場したという事実と志願理由書及び面接の内容を総合して合否判定を行います。

